



平成25年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2012年11月26日
トレンドーズ株式会社

- 会社概要
- 上半期決算概要
- 今後の取組み
- (参考資料)

会社概要

女性が、ひとりひとりが、輝く社会を実現する
～「女性」と「働く」をHappyに！

Woman
×
Social



ソーシャルメディアマーケティング事業



日本最大級のソーシャルアクティブな
女性ネットワーク

会員数:32,197名



サイト誘導 × 情報拡散
スマホアプリ

会員数:55,230名



インターネットキャンペーンを
成功させるソーシャルメディアサイト

会員数:52,617名

女性のライフスタイル 支援メディア事業



より確実に、より美しく
美容クリニックのクーポンサイト

会員数:26,489名

延べ人数

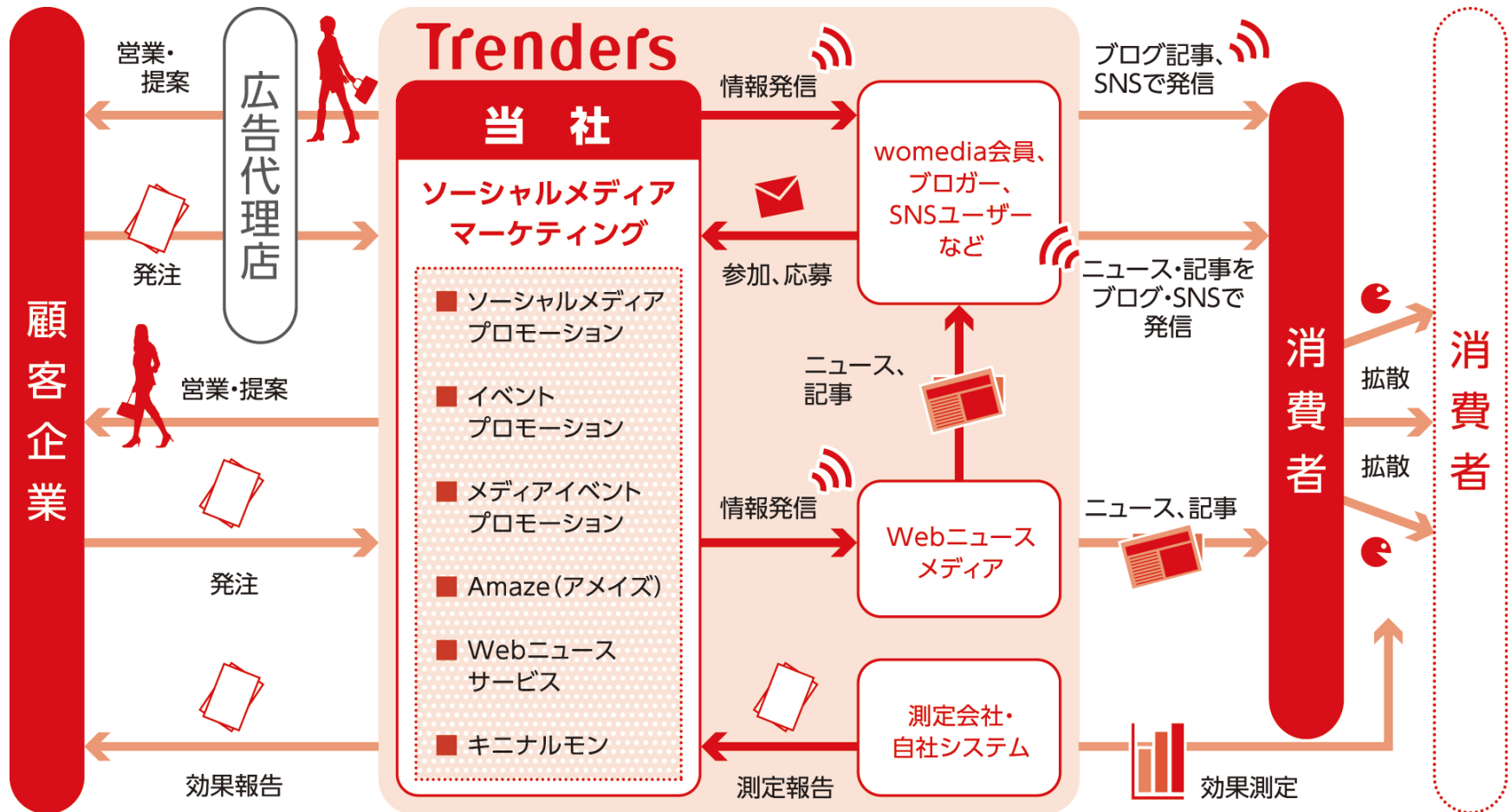
16万人

突破

※会員数は2012年9月末現在。

※目論見書記載のベースの「womedia会員数」は2012年9月末現在で78,635名。

トレンドーズのビジネスモデル



■ 女性向けマーケティングに強み

- 女性マーケティングにノウハウ・ブランド力がある
- 日本最大級のソーシャルアクティブな女性集団(womedia会員)をもつ

■ ソーシャルメディアマーケティングに強み

- 他社に先んじてソーシャルメディアマーケティングに着手し、ノウハウ・ブランド力がある
- 顧客ニーズにあった新サービスを次々に開発している

■ ワンストップ体制により収益性に強み

- 自社メディアを有し、企画から運営・実施までワンストップで行うため、高水準の経常利益率(H23/3期 22.5%、H24/3期 23.3%)

1. 女性向けマーケティングに強み

■ wmediaから発信された情報(ユーザーボイス)はブログ上だけでなく、TwitterやFacebookのソーシャルメディア上でも拡散されます。

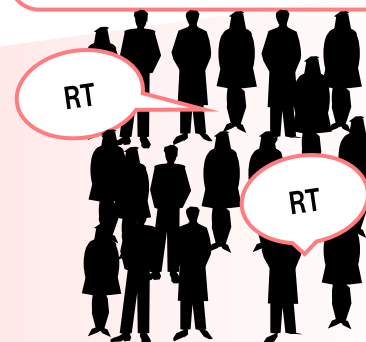
ブログ記事



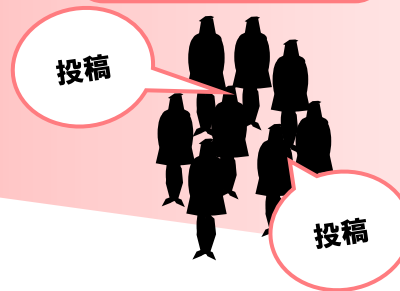
Twitterでも拡散



フォロワーがさらにリツイート



Facebookでも拡散



Facebookの友人が共感していいね！やシェア



2. ソーシャルメディアマーケティングに強み

ブログ黎明期よりソーシャルメディアマーケティングに取り組んでおり、
他社と明確に差別化できる強みを有しております。



■ 登録ブロガーのクオリティ
魅力的な写真がアップされた記事が掲載される
2次拡散されやすい自身の体験を綴った記事が掲載される

■ オペレーションのクオリティ
ターゲットユーザーに合わせてセグメント分けできる
商品コンセプトを正確に伝えて記事を書いてもらうことができる



ユーザーボイスを伝えるメディアとして
高い信頼性
(情報拡散+商品内容の理解浸透)



ソーシャルの拡散性を最大活用するために
モノを配る×
感動・驚きを共有する○

商品だけでなくブランドのイメージUPも図る



サイト誘導
会員登録
情報ソーシャル拡散

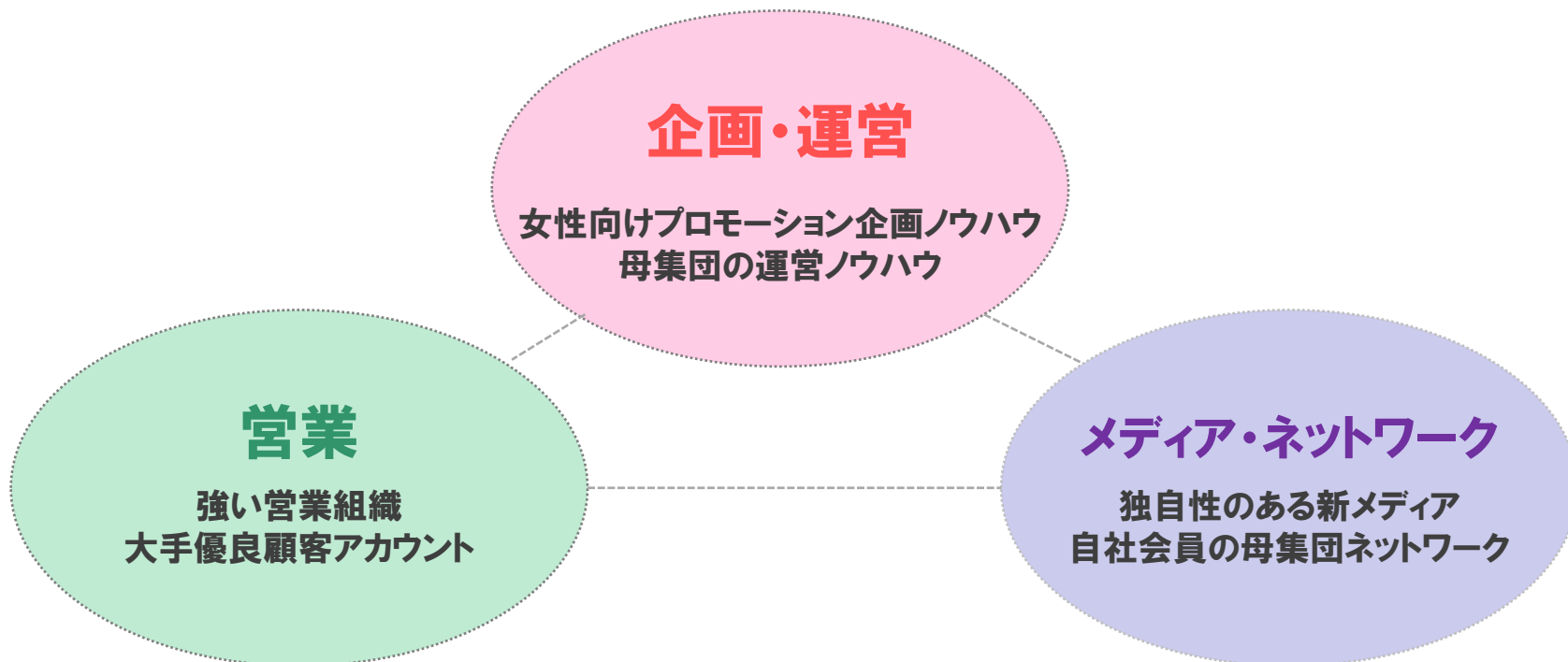
さらに
リアル店舗への誘導を促進するO2Oプロモーション

■ O2O(Online to Offline)
ネット上(オンライン)から、ネット外の実店舗(オフライン)への誘導を促す施策のことや、オンラインでの情報接触行動をもってオフラインでの購買行動に影響を与えるような施策

3. ワンストップ体制により収益性に強み

①営業 ②企画・運営 ③メディア・ネットワークの全てを自社で有し、
ワンストップで提供できる体制のため、高い水準の利益率となっております。

以下の3つを全て自社で提供出来る組織体制を有しており、
またそれぞれをより強化していくことで、
更なる高収益モデルを構築してまいります。



上半期決算概要

平成24年3月～4月 キレナビで「日本女子美人化計画」キャンペーン実施
1ヶ月で約100万人がサイトに訪問

平成24年4月 インターネットでのキャンペーンを成功させる、
ソーシャルプレゼントサイト「Amaze(アメイズ)」開始
会員数:52,617名(2012年9月末現在)

平成24年7月 スマートフォン向けプロモーションアプリ「キニナルモン」開始
App Store無料総合6位(7月4日時点)獲得
会員数:55,230名(2012年9月末現在)

平成24年10月 東京証券取引所マザーズ上場

■ 売上高:前年同期比153.6%

■ 経常利益:前年同期比161.8%

■ 顧客別平均売上高:前年同期比128.7%

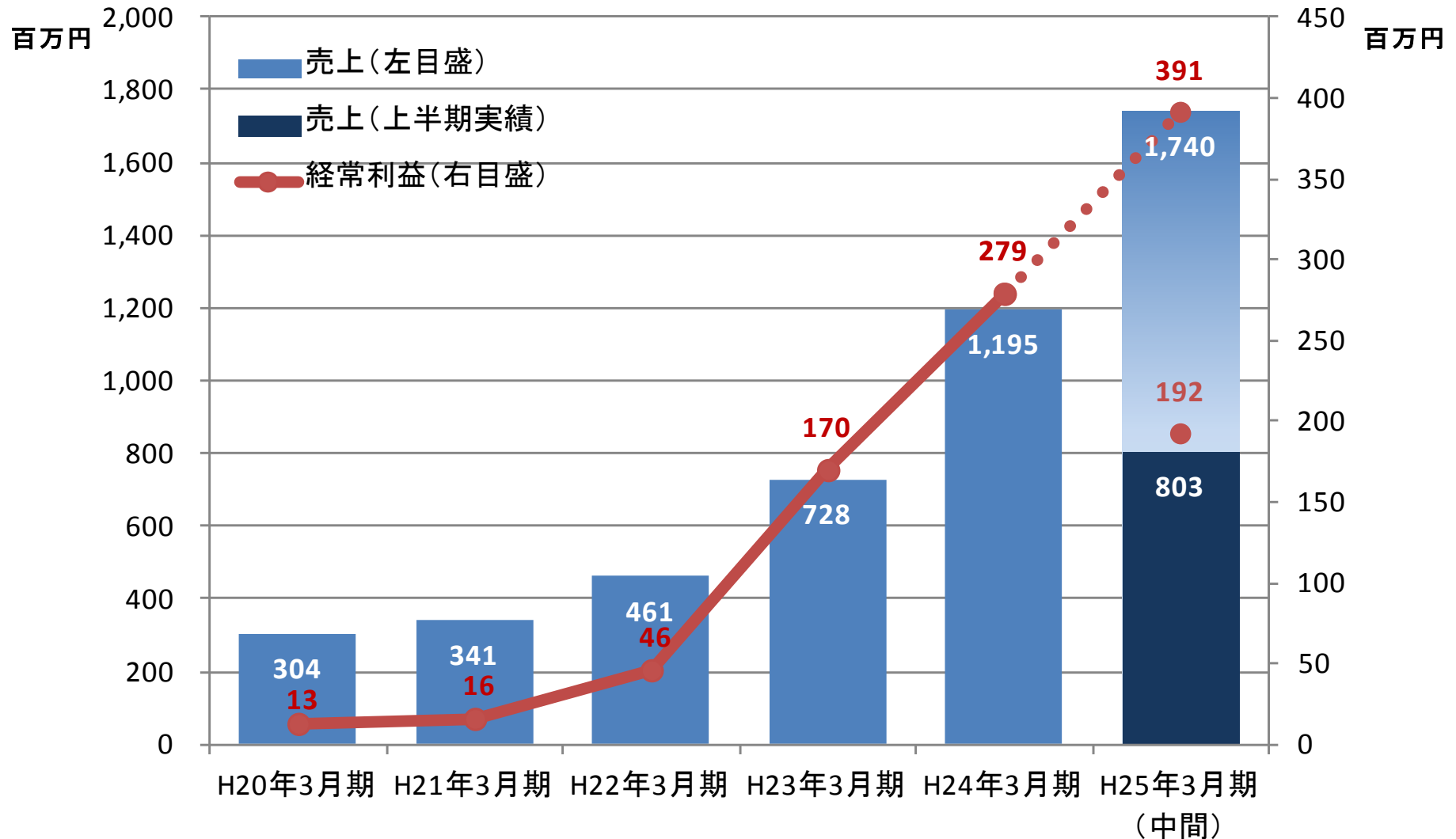
■ 取引顧客数:前年同期比117.5%

平成25年3月期 上半期 業績概要



		H25年3月期 上半期 実績	H24年3月期 上半期 実績	H24年3月期 通期 実績	H25年3月期 通期予想	進捗率
売上	(百万円)	803	523	1,195	1,740	46.2%
営業利益	(百万円)	197	117	278	391	50.4%
経常利益	(百万円)	192	118	279	391	49.3%
純利益	(百万円)	117	67	155	235	50.0%
1株当たり 純利益	(円)	84.62	48.45	111.84	155.75	—

平成25年3月期 上半期 売上高と経常利益推移

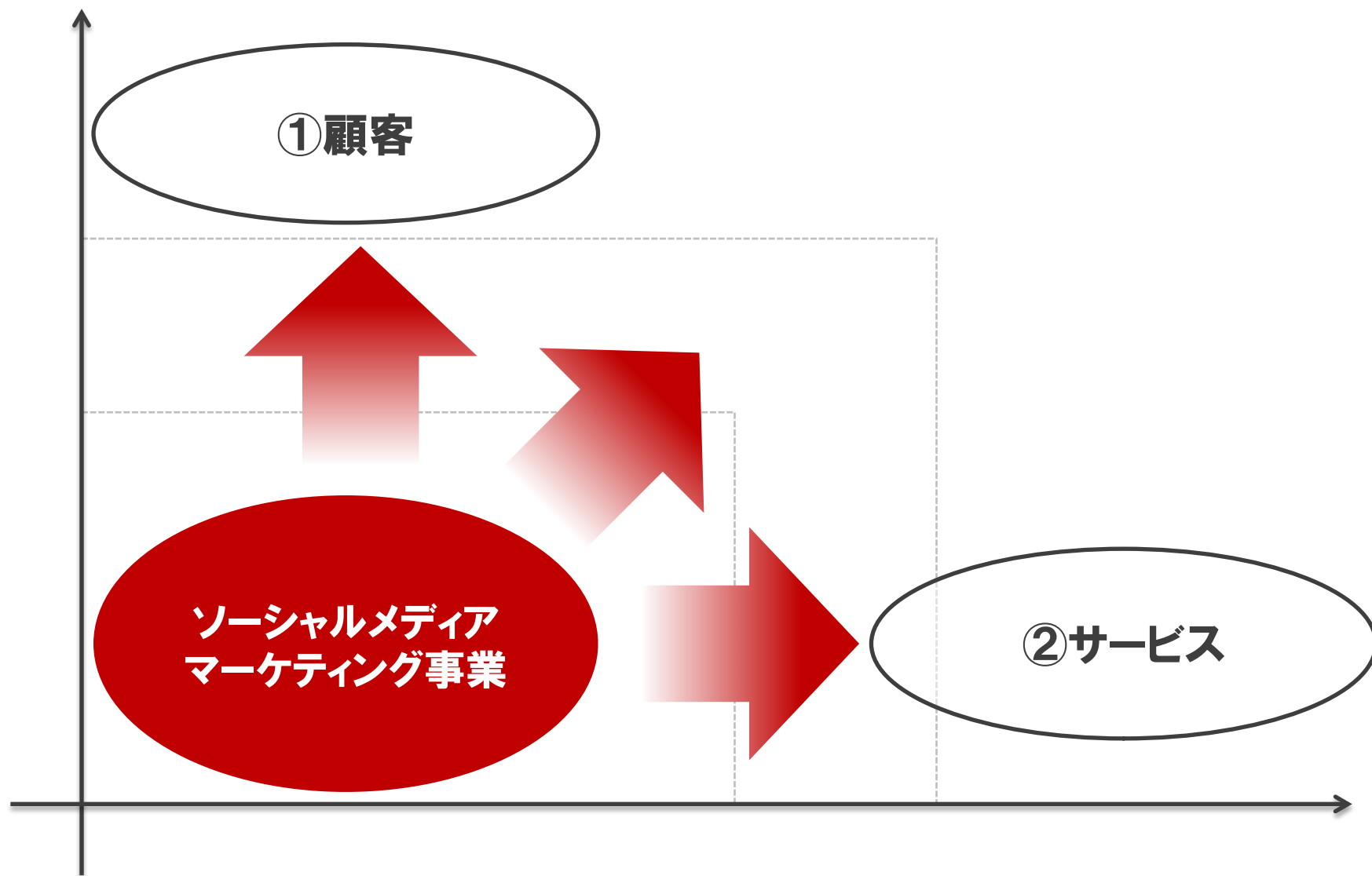


平成25年3月期 上半期 会員数推移

	H24年3月期 期末		H25年3月期 第2四半期	(増加数)
womedia	29,706	⇒	32,197	2,491
Amaze	—		52,617	52,617
キニナルモン	—		55,230	55,230
キレナビ	21,098		26,489	5,391

今後の取組み

ソーシャルメディアマーケティング事業の今後の取組み

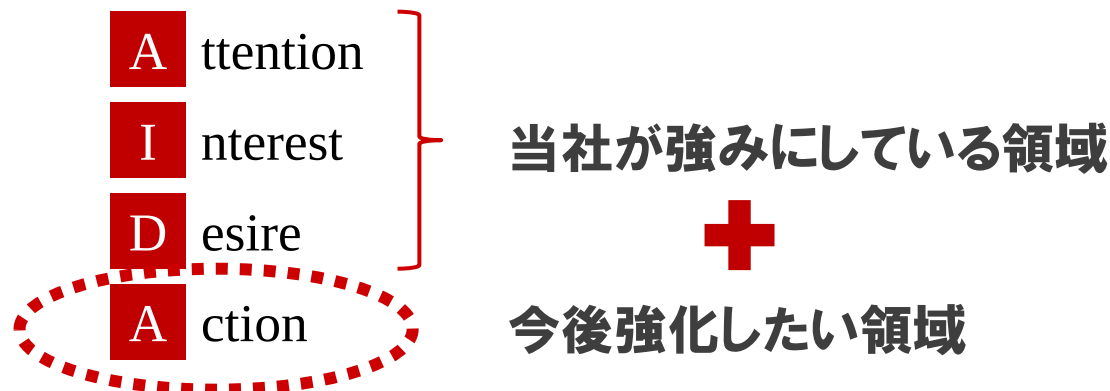


①顧客戦略

- 既存顧客の取引額の拡大
- 新規顧客数の拡大

②サービス戦略

- 「Amazeとキニナルモンで会員増加」
- 既存サービス、とりわけ、Amazeとキニナルモンのブラッシュアップ
- 顧客ニーズへの対応 = SP(SalesPromotion)領域の強化



キレナビ(女性のライフスタイル支援メディア事業)の今後の取組み



■ 売上拡大のための施策

① 商材(物販)の拡大

● ドクターコスメの取り扱いを拡大

② 商材(サービス)の拡大

● 婦人科検診の分野へメニューを拡大

③ 会員数の拡大

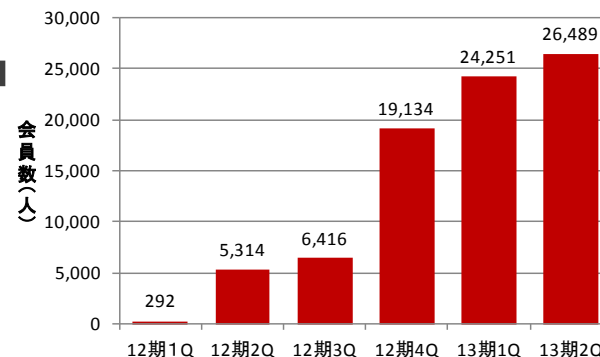
● 自社キャンペーン「ブス心撲滅運動」実施中



● 他社サイトとの提携強化



キレナビ会員数の推移



参考資料

■ ブランド認知度向上(信用力、採用力強化)

直近の主なパブリシティ実績

2012.11.22	テレビ朝日「ごごいち」に弊社代表が出演いたしました
2012.11.19	日経新聞(朝刊「起業の奇跡」)に弊社代表が取り上げられました
2012.11.09	テレビ東京「ワールド・ビジネス・サテライト」に弊社が取り上げられました
2012.10.24	TBS「News23」に弊社が取り上げられました
2012.10.19	テレビ東京「ワールド・ビジネス・サテライト」に弊社が取り上げられました
2012.10.18	R25(10月18日号)に弊社が取り上げられました
2012.10.12	日経産業新聞に弊社が取り上げられました
2012.10.11	日本経済新聞(朝刊「新規公開株の横顔」)に、弊社が取り上げられました
2012.09.28	日経マーケティングジャーナルに弊社が取り上げられました
2012.09.08	「AERA」(9月17日号)に弊社役員が取り上げられました
2012.08.20	週刊ダイヤモンド(8月10日号)に弊社代表が取り上げられました

ソーシャルメディアプロモーションポリシー



■私たちが大切にしていること

トレンドーズでは、女性達が持つ発信力・創造力を最大限に引き出し、ソーシャルメディアを通じて女性と社会が最適な関係性を築くことを目指しています。

ソーシャルメディアプロモーションの実施においては、トレンドーズの理念にご賛同頂いた会員の皆様のご協力のもと、以下のポリシーに則って運営しています。

■自発的な案件参加

・・・案件は全て、エントリー制による自発的な参加となっています。

■自由な発信内容

・・・ソーシャルメディアへの発信内容については、事前確認や感想のコントロールは行っておりません。

■安心のサポート体制

・・・会員の皆様からのお問い合わせに対しては、専任の事務局スタッフが電話・メールにて迅速に対応しています。

尚、トレンドーズはWOMマーケティング協議会(WOMJ)に法人会員として登録しており、ソーシャルメディアプロモーションの実施においては、その基本理念と活動ガイドラインを遵守しております。

将来見通しに関する注意事項



この資料は、トレンドーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。